



北川保育園の年長組が元気な声を響かせた「南昌わんぱく太鼓」

桜と郷土の歴史を楽しんだ 第14回徳丹城春まつりを開催

矢巾町徳丹城春まつり（同実行委員会主催）が4月28日に徳丹城跡公園、町歴史民俗資料館、佐々木家曲屋を会場に開催されました。

約9千人の来場者は、会場内の桜と春の心地よい暖かな日差しを感じながら、地元商工業者による出店や焼肉広場、フリーマーケット、スポーツ体験コーナーなどを楽しみました。特設ステージでは、町内園児の発表や不来方高校音楽部による美しい合唱、ゲーム大会、漆原栄美子さんと町民謡保存会による民謡ショー、もちまきなどさまざまなイベントが行われ、来場者は春のひとときを満喫していました。

まちの話題 あれこれ

身の回りに起きた出来事など、
楽しい情報をお寄せください。
役場企画財政課
☎ 611-2724



漆原栄美子さん（写真中央）と町民謡保存会の会員が民謡を披露

晴澤氏がスイーツ教室を開催 ひと口お菓子「ブッセ」を作る



晴澤氏（写真左）のアドバイスを聞きながら
クリームを塗り、ブッセを作る

町公民館では料理・製菓講師の晴澤雪枝氏を迎え4月21日、ひと口パイ「ブッセ」を作るスイーツ教室をさわやかハウスで開催し16人が参加。

参加者はまず、「パート・ア・ビスキュイ」というよく膨む軽いスポンジ生地を作るために空気を含ませながらメレンゲを作っていました。

完成した生地を、天板にうまく絞り出すことに苦戦しているようでしたが、焼き上がった生地にクリームをのせ、もう一つの生地を重ねて無事に「ブッセ」が完成しました。

参加者はふんわりブッセをつくるコツを学び、スイーツ作りの楽しさを体験しました。



丸やハートの形になるように
生地を絞り出す参加者



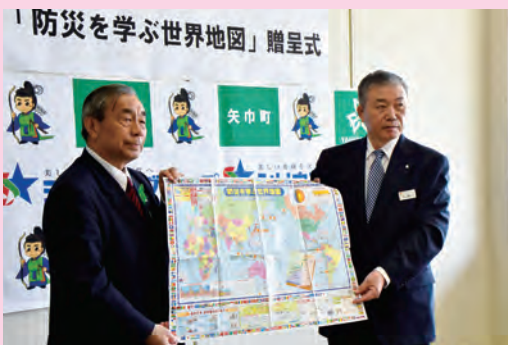
株佐々木組が地域貢献に尽力

株式会社佐々木組(佐々木和久代表取締役社長)は4月4日、町内小中学校の敷地内道路の補修工事を実施。アスファルト舗装が剥がれた箇所などを無償で補修し、子どもたちの学校生活での安全確保に貢献しました。



選任された町農業委員に辞令を交付

新たに選ばれた16人の町農業委員の辞令交付式が、4月24日に役場で行われました。農業委員は町の農業者の代表として選ばれ、農地に関する問題解決や農業者の立場からの行政への建議などを行います。



小学生に防災を学ぶ世界地図を進呈

株式会社シリウス(佐藤幸夫社長)は5月16日、「防災を学ぶ世界地図」を高橋町長に進呈しました。これは防災意識向上のため、平成26年から県内の小学5年生全員に配布され、平成28年度から町で代表受領しています。



握力アップの効果がある体操の実演をする大田氏(写真前列左)

盛岡南部地域リハビリテーションシオン広域支援センターでは4月22日、介護予防をテーマに市民公開講座を開催しました。参加者約350人は、茨城県立健康プラザの大田^{おきた}仁史^{ひとし}医学博士から介護予防の知識と簡単にできる「シルバーリハビリ体操」を学びました。講座では、寝たきり状態にならないために、立ち上がりや座るといった最低限の日常動作をすることが予防につながるという話しました。また、参加者は大田氏が考案した、介護予防に効果的であるシルバーリハビリ体操を体験し、1日でも長く元気に暮らす方法を楽しんでいました。

シルリハ体操が予防に効果アリ！
大田博士が介護予防の知識伝授



スラックラインの体験をする親子

5月22日、町地域おこし協力隊が町営キャンプ場を会場にバザール「菜の花は。」を開催。来場者約千人を集客し、町スポットと町農業生産者などの魅力を発信しました。出店やフリーマーケット、手づくりの工芸品を販売するクラフト市、木の幹にロープを張りその上を歩くアクティビティ「スラックライン」の体験、町内在住者を講師にカメラ講座を開催するなど楽しめる企画でした。キャンプ場に隣接する町の花の名所「菜の花畑」は花が咲いていて、黄色いじゅうたんが広がっていました。

町地域おこし協力隊プレゼンツ
ヤハバザール「菜の花は。」